

平成 21 年度 事業報告

オリンピック憲章に基づく国内オリンピック委員会として、寄附行為に掲げる目的を達成するため、以下の諸事業を実施した。

スポーツ選手を育成・強化する事業

〈第 21 回オリンピック冬季競技大会選手団派遣事業〉

平成 22 年 2 月 12 日 ～ 2 月 28 日 カナダ／バンクーバー

橋本聖子団長以下 205 名を派遣。実施 6 競技に参加、銀 3、銅 2 の計 5 個のメダルを獲得した。

〈第 25 回ユニバーシアード競技大会選手団派遣事業〉

平成 21 年 7 月 1 日 ～ 7 月 12 日 セルビア／ベオグラード

田中英寿団長以下 392 名を派遣。実施 12 競技に参加、金 20、銀 21、銅 32 の計 73 個のメダルを獲得した。

〈第 5 回東アジア競技大会選手団派遣事業〉

平成 21 年 12 月 5 日 ～ 12 月 13 日 ホンコン・チャイナ／香港

水野正人団長以下 544 名を派遣。実施 22 競技に参加、金 62、銀 58、銅 70 の計 190 個のメダルを獲得した。

〈選手強化事業〉

1. 強化合宿事業

1) 海外強化合宿

オリンピック強化指定選手をはじめ、トップレベルにある選手の一層の強化を図るため、海外での強化合宿を実施した。

27 競技、37 行事、1,711 名

2) 国内強化合宿

各競技のナショナルチームの育成・強化を図るため、国内における強化合宿を実施した。

36 競技、390 行事、11,721 名

2. コーチ力強化事業

1) 専任コーチングディレクター等の設置

長期一貫強化対策に基づき、トップアスリート及びジュニアアスリートの育成・強化を図るため、年間を通じ専任コーチングディレクター、専任メディカル／情報・科学スタッフを設置した。

専任コーチングディレクター（トップアスリート担当） 27 競技、51 名

専任コーチングディレクター（ジュニアアスリート担当） 28 競技、58 名

専任コーチングディレクター（NTC担当） 14 競技、16 名

専任メディカル／情報・科学スタッフ 17 競技、38 名

2) 海外優秀コーチ設置

世界でトップレベルにある外国人コーチを招聘し、優れた指導方法の導入等を図った。

9 競技、24 行事、33 名

3) コーチ研修派遣

指導力の一層の資質向上と現場での情報収集を目的として、現役コーチを国内外へ研修派遣した。

3 競技、24 行事、49 名

4) スタッフ会議等の開催

各競技における強化スタッフの相互研修・情報交換等を通じて、指導力の向上と指導体制の充実を図るため、各種会議を開催した。

コーチ会議 1 回

Conference for Building up Team Japan 2 回

3. スポーツ国際交流事業

世界のトップレベルにある諸外国の選手・チームとの交流を通じて実戦経験を積み、競技力の向上を図った。

- 1) チーム派遣 42 競技、339 行事、4,487 名
- 2) チーム招待 11 競技、33 行事、966 名
- 3) 日韓スポーツ交流 14 競技、32 行事、702 名

4. 調査研究事業

JOCゴールドプランに基づく、各種プロジェクト及び医・科学サポート等を実施した。

5. 強化対策事業

オリンピック強化指定選手等を対象に健康管理を実施するとともに、選手強化事業全般の企画・運営及び情報収集等を行なった。

〈ナショナルトレーニングセンター設置事業〉

ナショナルトレーニングセンター中核拠点の設置推進と運営及び競技別強化拠点等の設置を推進した。

〈アンチ・ドーピング推進支援事業〉

国際総合競技大会へ派遣する日本代表候補選手に対してドーピング検査を実施するとともに、競技会外検査を実施し、アンチ・ドーピング活動を推進した。

〈スポーツ指導者海外研修事業〉

オリンピック競技大会のメダリスト等、豊富な競技経験を有する者を一定期間海外に派遣することにより、将来を担う指導者の育成、国際競技力の向上及びスポーツの底辺拡大を図った。

長期派遣（2年間）5名

短期派遣（1年間）9名

オリンピック・ムーブメントを推進する事業

〈オリンピックデー記念事業〉

オリンピックとともに参加するジョギングを中心とした「オリンピックデーラン」を全国9会場において実施、また、オリンピックコンサートを開催した。

〈スポーツ情報の提供事業〉

オリンピック大会をはじめとするスポーツに関する各種情報を機関誌「オリンピック」等の定期刊行物やインターネットホームページ《<http://www.joc.or.jp>》、各種セミナー等を通じ広く情報提供を行なうとともに、オリンピックの基本理念等を掲載したパンフレット並びにカレンダーを作成し、広く一般に配布した。

〈スポーツ環境保全活動〉

IOCが取り組んでいるスポーツを通じた環境保全行動に基づき、本会事務所の環境管理システムを構築し、スポーツ関係者に対し環境保全の必要性を広めるための啓発活動を実施した。

その他本会の目的を達成するために必要な事業

〈マーケティング事業〉

マーク等商標権の活用により財政基盤の確立を図るとともに、新プログラムによるマーケティング活動を推し進めた。

〈オリンピック大会招致活動〉

2016年に開催される第31回オリンピック競技大会を日本に招致するため、東京オリンピック・パラリンピック招致委員会と連携し招致活動事業を展開した。

〈国立スポーツ科学センターとの連携〉

選手強化事業推進のため、調査研究事業、選手の健康診断等を実施した。

〈その他〉

OCAが主催する新総合競技大会に参加、アジア地域の国際交流を図った。

第1回アジアユースゲームズ	平成21年6月29日～7月7日	シンガポール
第1回アジアマーシャルアーツゲームズ	平成21年8月1日～8月9日	バンコク
第3回アジアインドアゲームズ	平成21年10月30日～11月8日	ハノイ